

事業名	稲作経営基盤強化対策事業	新規・改善・既定	課名	農産園芸課
		国庫・県単		

1 事業の目的・背景

コロナ禍による米価下落の影響を受けた生産者が、営農継続に対する不安を払拭し、希望を持って米づくりを継続できるよう、経営規模の拡大や基幹作業の受託に取り組む経営体等に対し、農業機械・機器の導入を支援する。

また、飼料価格の高騰により、飼料用米の需要が高まっていることから、飼料用米を生産する農家等に対し、農業機械・機器の導入を支援する。

2 事業の概要

(1) 予算額 100,000千円 (補正後 250,000千円)

(2) 財源 国庫(臨時交付金) : 100,000千円
補正後 国庫(臨時交付金) : 250,000千円

(3) 事業期間 令和4年度

(4) 事業主体 規模拡大を志向する経営体、受託組織、
種子生産組合、飼料用米を生産する農家、営農集団等

(5) 事業内容

稲作経営基盤強化対策事業(1/2以内) 100,000千円
(補正後250,000千円)

ア 水稻の基幹作業(播種、移植、防除、収穫、乾燥調製等)に必要な機械・機器の導入支援

イ 飼料用米生産における基幹作業(移植、収穫、乾燥調製等)に必要な機械・機器の導入支援

3 事業効果

《担い手を核とした水田農業の生産基盤が強化された地域数
令和3年度 0地域 令和4年度 28地域》

水田農業の持続的発展に向け、担い手を核とした地域農業の生産基盤が強化される。

稲作経営基盤強化対策事業（拡充）

現対策では

現状・課題

**コロナ禍による
米需要への影響**

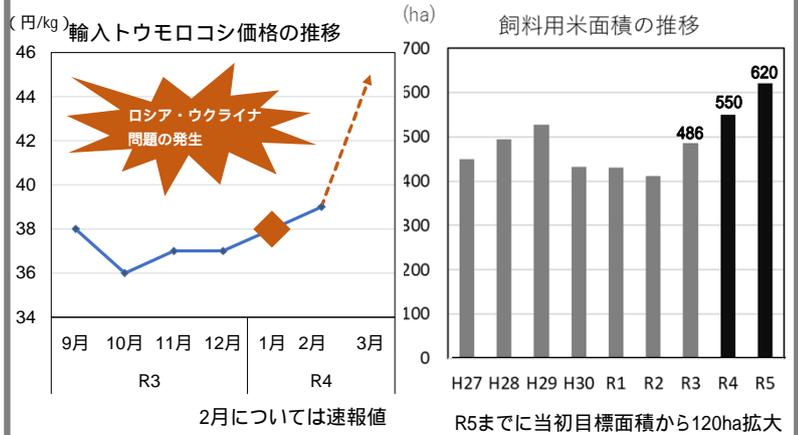
中食・外食需要減少
全国的な米在庫量の増加
米価低迷

対策

規模拡大意向のある生産者や基幹作業の受託に取り組む生産者等への体制整備を支援

新たな課題

**飼料価格の高騰
県産飼料用米の強い生産拡大要望**



対策

配合飼料（輸入トウモロコシ）の代替となる飼料用米を生産する農家等への支援

具体的な支援内容

水稻の基幹作業（播種、移植、収穫、乾燥調製等）に必要な機械・機器の整備支援
 整備予定地域：県内全域
 事業実施主体：規模拡大を志向する生産者
 飼料用米を生産拡大する生産者 等

播種移植：田植機等

収穫：コンバイン等

乾燥調製：乾燥機等



県外流通
 県内流通
 地域流通

スキームを活用

本県耕種農業の

生産力強化・飼料自給率の向上

水田農業の持続的発展と地域農業の生産基盤強化